

一般財団法人 有本積善社 第40回番組審議会議事概要

- 1 開催年月日：令和3年1月21日（木）16:05～17:05
- 2 開催場所：京都府舞鶴市字円満寺158-6 西市民プラザ2階 市民活動団体活動室
- 3 委員の出席：

委員総数： 7名
出席委員数： 5名
出席委員の氏名： 水嶋純作、今安博和、山内茂樹、山下美晴、楠崇智
(メールコメント含む)

欠席委員の氏名： 尾関善之、松井恭子
放送事業者側出席者名： ジェネラルマネージャー 時岡浩二
放送局長 中西 進
制作チーフ 上田秀篤
制作スタッフ 奥野あかり

4 議題

(1) 報告事項

- ① 昨年7月の第36回審議会から毎回報告している環境省の補助金事業「地球温暖化防止意識啓発運動Cool Choice」は、1月のテーマとして「宅配便の再配達防止」関連の番組、生読みCMを放送している。
- ② 1月10日（日）の舞鶴市成人式を「新成人応援プロジェクト」として、式典の模様を赤れんが5号棟から、新成人と舞鶴市長との対談などを2号棟から生放送した。今年はコロナ禍による式典自体の時間短縮があり、番組も14:15～16:00の1時間45分に短縮した。また、会場に来ることできない新成人、家族などにも成人式を見てもらえるように、新たな取り組みとしてラジオ放送と合わせてZOOM、YouTubeを活用したオンラインでの映像配信も手がけた。
- ③ 1月13日にコロナ禍による緊急事態宣言が京都府にも発令されたことを受け、FMまいづるスタジオのある西市民プラザは現在、閉館時刻が午後10時から午後8時に繰り上げられている。スタジオのパーソナリティ席とゲスト席の間、および複数ゲスト間には従来から透明の亚克力板を設置している。また、ゲストは3人までに制限。対談時にはパーソナリティ・ゲスト双方ともマスク着用としている。
- ④ 毎週金曜の20:00～20:15に放送している収録番組「寝ても眠れない日本人へ」は番組ホストのT.K.氏が死去されたため、1月は過去の放送を再編集したものを追悼番組として放送する予定。2月からは故人が取り組んできた4つ程度の分野をテーマに、それぞれのテーマにふさわしいゲストを招きパーソナリティとの対談番組を放送する予定。
- ⑤ 第39回番組審議会（令和2年10月22日）における、第118回「田中啓介の寝ても眠れない日本人へ」（令和2年7月3日放送）の審議の際の番組審議委員の質問に対してFMまいづる（一般財団法人有本積善社）の見解（令和2年11月12日）を以下の通り報告した。

[1] コミュニティFMとしての政治的な諸問題の放送について

F Mまいづる（一般財団法人有本積善社）は、市民の立場で様々な政治的諸問題や課題を取り上げ、放送することがあります。特に地域住民の生活に関わる諸問題については、市民の多様な意見や関連情報を放送することで、コミュニティFM局が地域の放送局として地域社会に貢献することができると考えています。FMまいづる（一般財団法人有本積善社）の放送内容（番組）は、放送免許申請書の「無線局事項書」「放送番組の編集の基準」等により総務省近畿総合通信局に計画を届け出ています。「地域住民の声や意見」の発信にコミュニティFMの市民制作番組が活用される事は、健全な地域社会の発展に資するものと考えています。

[2] 政治的な諸問題のバランスについて

F Mまいづる（一般財団法人有本積善社）は、言論及び表現の自由を最大限に尊重し、放送を行っています。番組スポンサーが番組制作者となり出演する場合は、番組制作者が放送枠を購入する為、放送法及び当法人の「放送番組の編集の基準」から逸脱しない限り、番組制作者が企画する自由な内容を放送することを認めています。番組が政治的に一方的な意見や見解となる場合は、番組内容に対する反論や批判を広く求め、放送希望があれば、同番組内や他の番組枠を販売する形で放送枠を提供するなどの対処をしています。尚、「報道番組は、総ての干渉を排し、政治、経済、社会上の諸問題に対しては公正な立場を守り、対立意見の問題に関しては多角的な論点を明示する。」と当法人の「放送番組の編集の基準」に定めているが「田中啓介の寝ても眠れない日本人へ」については、報道番組ではなく、市民制作番組と整理しています。

[3] 個人や団体の誹謗中傷について

F Mまいづる（一般財団法人有本積善社）は、基本的人権を尊重し、根拠の無い誹謗中傷を放送する事は認めていません。但し、一定の理由や条件、前提において政治家個人や政治グループを非難、批判する場合は、民主主義社会において、言論及び表現の自由の観点から排除されるものではないと考えています。

(2) 番組審議

2021年1月14日（木）07:33～08:49

まいづるモーニングブリーズ 担当パーソナリティ：S. K.

番組内容：朝の情報生放送番組。交通情報、気象情報、ニュース、行政からのお知らせなどを中心に、リスナーからのお便り紹介・リクエスト曲などを放送。

5 議事の概要

- ① 上記（1）項の報告内容を審議委員に説明。
- ② 上記（2）項の審議番組に対する意見を審議委員各位から聴取。

6 審議内容

【審議番組に対する委員の主な意見】

- ① 若い人が、こうして町の魅力を発信していくのは大切なことである。
- ② 声はよく、さわやかで柔らかく、聴きやすい。

- ③ 声質が朝の番組に合っていると思うので、また聴きたくなる感じである。
- ④ ニュースは抑揚なく、淡々と読んでいる。聴く方にしては苦にならない。
- ⑤ ニュース、気象情報などの読み間違いが多い。事前の練習をしっかりと、頑張っ
て無くして欲しい。
- ⑥ トークの部分は辿々しいところや言い間違いもありスムーズとは言えないが、丁寧
に話しを伝えようという思いが伝わってきて好印象である。
- ⑦ 話しの途中で考えたり、タイミングをとるためか「え～」というのが多く気になる。
- ⑧ 自分の声が全舞鶴に流れているという意識を持って放送してほしい。
- ⑨ ニュースの読み方は練習すれば直ると思う。「しゃ、しゅ、しょ」の発音が舌足らず
などところがある。いつも綺麗に読んでいるパーソナリティと比べると気になる。

質 問：局の方針としては、ニュースはアナウンサー的な読みを求めているの
か？それともタレントさんのような読み方でもいいと考えているのか？

局回答：前者である。他のパーソナリティも対象に再度講習をとという声があ
り、検討している。

【その他の番組に対する意見等】

質 問：「ヤバイ」という言葉を、パーソナリティが使っているのをよく聞く
が、放送用語としてはどうか？（危険、不都合な事態が起こりそうな
状況を表現していると思われる。）

局回答：語源には諸説あるが、その一つとして江戸時代、射的場は『矢場』と
呼ばれていた。そこで矢を拾ったり、手取り足取り射的の世話をし
てくれる女性を「矢場女（やばおんな）」と言い、彼女たち目当ての客
も増えてきて、売春も行われるようになった。結果、治安がよくない
場所となり、役人から目をつけられ、下手に居合わせると危険である
ことから隠語で「矢場居（やばい）」が使われることが多かったよう
である。研修ではこうした語源も伝え、使わないように指導してい
る。再度周知する。

7 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日

当審議会が出た意見を局内会議で議論し、今後の番組構成・内容等の改善に資する
よう担当パーソナリティに伝えた。（令和 3 年 2 月 11 日）。

8 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法 及び年月日

- ① 令和 3 年 2 月 13 日 この審議会議事概要を演奏所事務所に備置き、閲覧できる
ようにした。
- ② 令和 3 年 2 月 13 日 この審議会議事概要をホームページに掲載した。

9 その他の参考事項

特になし

以上